

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称  
柿原工業株式会社 本社工場
- (2) 事業所の所在地  
広島県福山市箕沖町99-13
- (3) 業種  
自動車部分品附属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成23（2011）年度を基準年度とし、平成29（2017）年度から令和3（2021）年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a) 平成 年度	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c) 平成 年度	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産ハンガー数 (千ハンガー)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a) 平成23年度	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c) 平成33年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	36.23	32.75	33.50	25.96	22.76	28.79	
		9.6	7.5	28.3	37.2	20.5	
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量	36.23	32.75	33.50	25.96	22.76	28.79	
		9.6	7.5	28.3	37.2	20.5	
エネルギー消費 原単位 (原油換 算kl)	12.83	11.60	12.28	12.32	12.65	14.32	
		9.6	4.3	4.0	1.4	-11.6	
実績に対する 自己評価	新型コロナウイルス感染拡大による減産により、エネルギー消費原単位は悪化したが、温室効果ガス原単位は、目標以上の削減率となった。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気原単位の改善	電気原単位（基準年度比） 38.0%改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率照明への更新</li> <li>・めっきラインの運用改善</li> <li>・めっきラインの設備更新</li> <li>・冷暖房温度の適正管理</li> <li>・休憩時間の消灯の徹底</li> </ul>
2	燃料原単位の改善	燃料原単位（基準年度比） 0.2%悪化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めっきラインの運用改善</li> <li>・めっきラインの設備更新</li> <li>・蒸気配管保温の適正管理</li> <li>・ボイラー空気比の適正管理</li> </ul>
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	太陽光発電	年間93t程度のCO <sub>2</sub> 排出削減	第二工場の屋根上に太陽光発電設備を設置（126.72kW） 令和2年度86708kWh発電 自家消費（余剰売電）の太陽光発電設備を追加設置（89.6kW） 令和2年度自家消費77034kWh 余剰売電12384kWh

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。